

令和元年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

| 開催日（曜日） | 会場 | 時間 | 出席人数 | | |
|-----------------|-------|-------------|------|---|----|
| | | | 男 | 女 | 計 |
| 令和元年 7月8日（月） | 中西公民館 | 19:00～20:00 | 20 | 6 | 26 |

○市側出席者

市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

○開会（秘書課長）

- ・会の趣旨説明
- ・出席者紹介

○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。行政として課題多く財政厳しい中、効果的に事業を進めるためには地元企業や団体、近隣自治体、県等との「連携」をさらに充実させることが大事である。連携の進め方として着目している点を説明する。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

2015年国連サミットで採択されたもので、2030年までに全世界が達成すべき目標とされる。17のゴール・169のターゲットの中には市政と直接関係しないものもあるが、様々な相手との連携のための共通の基盤として、国際的な視野を持つことが重要。

・萩・石見空港の利活用

現在1日2往復の東京線だが、うち1便は国の発着枠政策コンテストにより得たものであり、何度かの期間更新を経て、今年度末でいったん終了する。その後は未定であり、継続のための実績をしっかりと作らなくてはならない。国の昨年は目標一步手前まで伸ばすことができた。県や近隣市町とともに国交省・ANAに働きかけていくので、引き続き市民の皆様のご協力をお願いしたい。山陰道についても重要な局面であり、この中西地区のファクトリーパーク付近を通る案を推している。企業誘致の前進もあるので、道路についてももしっかり要望していく。

・ひとづくりと人材確保

働き手不足の状況の中で、若者が地元に着定してもらうことが重要である。小中高生時代から地域行事に参加してもらい機会を作ったり、地元企業経営者などの話を聞いてもらい地元の魅力に触れてもらう活動に力を入れている。高校生と少し上の世代とで益田市版「カタリ場」を実施し、さらには高校生が小中学生と語り合う場を作るなどの取り組みも行っている。ハローワークの進学・就職希望調査では地元就職を希望する割合が伸びており、これは先に「ひとづくり協働構想」を作り取り組み始めたときの中学1年生世代であり、施策の成果が表れてきているのではないかと考えている。

・中西地区の課題等について

- ① 中西小学校の改築については、校舎を広げる形で進めている。市全体の改築計画が財政事情から年に1棟ずつの実施であり、中西小は来年度となる。今しばらくお待ちいただきたい。

○意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 消防車庫について
- ② ファクトリーパーク（FP）の現状について
- ③ ファクトリーパーク（FP）の将来について
- ④ 貧困の定義について

- ⑤ 安全な水について
- ⑥ ひとづくりについて
- ⑦ 高齢者の免許返納への対応について
- ⑧ 職員の喫煙について
- ⑨ 国道整備について
- ⑩ 保険料等の通知の公印について

○ 閉 会 （秘書課長）

令和元年度「市長と語り合う会」

【会場 中西公民館】 開催日時：令和元年7月8日（月）19:00～20:00

| 要 望 事 項 等 | 回 答 |
|--|--|
| <p>⑪ 消防車庫について 老朽化しており要望書も提出している。東京で消防団を中核とした都市づくりというものがあったと聞いた（補助の枠組み）。そういったものを利用できないか。</p> | <p>① この春に車両を更新した際、車庫を見せていただき、必要性は実感した。財源確保の手法についてヒントをいただいたので、勉強していきたい。</p> |
| <p>⑫ ファクトリーパーク（FP）の現状について FPと羽原スポーツ広場について関心をもって活動している。空港やグラントワは県職員が常駐しているが、FPはそれがない。環境美化等の問題について、企業へのフォローが十分でない。発想の転換が必要ではないか。</p> | <p>② 県職員の常駐はないが、空港利活用とも関係してFPはじめ企業誘致を重要視して取り組んでいただいている。K社（誘致企業）は、当初出雲への進出も考えられたが、県の後押しもあり益田への立地が決まった。今後も連携して取り組んでいく。</p> |
| <p>⑬ ファクトリーパーク（FP）の将来について 誘致企業にとっても若い働き手確保が重要。外国人も増える。社宅やコンビニなどの生活環境、また樹木の管理、交通体系整備なども行政主導で整備していく必要があるのでは。</p> | <p>③ 必要性は感じている。もう少し立地企業・従業員が増えれば飲食業などの進出も考えられるところである。現状FPは製造業のみ想定しているが、そうなれば適用緩和について県とも協議していきたい。樹木管理は市が責任を持ちつつ、引き続き地元の皆様の協力もお願いしていきたい。</p> |
| <p>⑭ 貧困の定義について SDGsの話で「貧困」に触れたが、市にとって「貧困」の定義は何か。昔に比べれば現代は恵まれている。</p> | <p>④ 相対的なものであるが、市内にも生活保護受給者や要保護／準要保護の世帯もある。現在支援を要するレベルにある人に、そのレベルを脱してもらうことは大事だし、納税をお願いできるようになることは財政上もメリットがある。</p> |
| <p>⑮ 安全な水について 匹見など奥地の水源辺りの山を中国の人が買ったという話を聞く。どうなるのか心配している。</p> | <p>⑤ 市における詳細は不明だが、そうした報道は耳にしている。いま日本の山林の値段が下がっており、将来水や材木などの価格上昇を見込んだ投機目的と思われる。問題が起こらない限りこれを制限するのは難しい。水源の汚染などがあれば対応しなくてはならない。</p> |
| <p>⑯ ひとつづくりについて まず職員づくりからしてほしい。開パイの時効消滅の問題も、払わないのを自慢する入植者がいると聞く。共用車で動くときは大概2人で乗っているが無駄ではないか。</p> | <p>⑥ 時効消滅について改めてお詫び申し上げます。自発的な支払いを促すこととしており、すでに1件支払いがあった。2人体制は金銭取り扱いの不正を未然に防ぐなどの面からこうした運用を行っている。</p> |
| <p>⑰ 高齢者の免許返納への対応について 高齢者の交通事故が注目されるが、過疎化も進み返納すると著しく不便になる。中山間地に商店などができるような施策を望む。</p> | <p>⑦ 公共交通だけで生活できるようにするのが行政の役目と思う。商業の自由化による大型店の地方進出で地域の小さな商店などが成り立たなくなった。一つの突破口は地域自治組織だと思っている。収益事業についても前向きに進めていただきたい。</p> |
| <p>⑱ 職員の喫煙について 勤務時間中、庁舎付近や出先で吸っているのを</p> | <p>⑧ おっしゃる通りと思う。健康や環境への影響等も合わせて考えていかななくてはいけない。</p> |

見る。市民の目を意識すべきでは。

- ⑱ 国道整備について
当地区に国道が通っていない。F P への交通が
良くない。
- ⑳ 保険料等の通知の公印について
後期高齢者と介護保険の通知を受けているが、
公印が省略されているがなぜか。また、「天引
き」という言葉を使っているが、国保の通知に
は使われていないが適切か。

- ⑨ 市道の管理が行き届いていない。少しずつで
はあるが改善を進めたい。山陰道のルート選
定においてはF P 付近を通るルートが決定さ
れるよう努力していく。

- ⑩ 確認して、問題があれば訂正していく。

※当該通知は法定上のものではなく、市事務
処理規則に従って公印省略の措置を採ってい
るものである。

※「天引き」は保険料等の徴収にも当てはま
る言葉であり、厚労省パンフレット等にも使
用されていることを確認している。